

22. 地震・火災等、災害非常時の心得について

平成23年3月11日の東日本大震災では、その後発生した巨大津波により、広い範囲で甚大な被害が発生し、多くの人命が失われた。

日本では、今後もまだ大きな地震の発生が予測されますが、災害はいつ発生するかわれも予告することはできない。皆さんが在学中に発生するかもしれませんし、卒業後、職場に居るときに発生するかもしれない。

日頃から非常時の備えをしておくように心がけておくこと。

【災害発生時】

学校内にいる時に地震や火災が発生した場合は、教職員が避難誘導しますのでその指示に従うこと。非常時には恐怖を感じて動けなくなったり、パニック状態になることも考えられるが、冷静に行動することが一番大切である。

- ・ 普段から万が一の事態にどう行動するかイメージしておくようにしてください。避難経路や避難場所また非常口を確認すること。
- ・ 地震の際は、落ちてこない、倒れてこない場所を探し、机などがあればその下に入り自分の身を守ること
- ・ 避難する際は、エレベーターを絶対に使用しないこと。
- ・ 階段で避難する際、駆け下りたりせず（将棋倒しの危険性あり）、手荷物は最小限にする。
- ・ エレベーター内で地震があったら、すぐに最寄の階で降りること。万が一閉じ込められた時は、非常ボタンを押して冷静に待つこと。（携帯電話があれば外部に連絡を試みること。）

【防災訓練・防災知識】

学校では定期的に防災訓練を実施している。訓練の機会をとおして、防災意識を高め、将来仕事に就いた際には、プロとして人命を守る立場になることを意識すること。

判断力や体力のある皆さんは、災害時に地域防災に貢献することもできる。卒業後の職場でもリーダーとして活躍できるように AED の使用方法を身につける、防災士資格を取得するなどより専門的な知識や技術を学ぶことにぜひチャレンジすること。

- ・ 消火器の使い方を知っているか？
- ・ 消火栓の扱い方を知っているか？
- ・ 火災による煙を避けた避難方法を知っているか？
- ・ AED の使い方を知っているか？
- ・ 止血の方法を知っているか？
- ・ 骨折時の応急処置方法を知っているか？

滋慶学園グループ Hand Book of Life Style より